

図書館へ行こう！

※今年(2018)の校内読書旬間は10/18(木)～10/27(土)です※

来月の読書旬間にあわせて、図書館では恒例の「読書に関する標語」を募集しました。近日中に審査し、期間中にこの紙面で発表する予定です。今年(2018)はどんな読書の秋になるのかな？ お楽しみに！！



↓今年(2018)の全国共通標語



～最近8年間の全国共通標語～

年	標語(全国共通)
2011	信じよう、本の力
2012	ホントノキズナ
2013	本と旅する 本を旅する
2014	めくるめぐる 本の世界
2015	いつだって、読書日和
2016	いざ、読書。
2017	本に恋する季節です！
2018	ホッと一息 本と一息

さあ読書の秋です。たくさん読もう、いろいろ読もう、もう一度読もう!! 図書館へ行こう！

…スポーツの秋…

…芸術の秋…

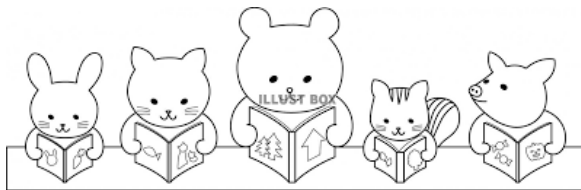
『友情』 山中伸弥, 平尾誠二・恵子著 平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」

日本のラグビー界を長年牽引しつつ病に倒れた平尾誠二氏。iPS細胞の研究でノーベル賞を受賞した山中伸弥教授。偉大な業績のある二人が知り合ったのは40代半ば、そこから深い友情を育んできた。最期まで決して諦めなかった平尾氏の闘病生活に、山中教授が全力で併走した軌跡を著した感動のノンフィクション。



『ネコを撮る』 カラー新版 岩合光昭写真・著

ネコの決定的瞬間を撮ろう! そう思ったヒトに、写真家岩合さんがズバリ答えるネコ写真術の決定版。モデルねこの探し方、機嫌の取り方、決定的瞬間のシャッターチャンス…ねこ写真の秘密に迫る。傑作をオールカラーで楽しめる待望の新版で、新作も一部所収した新書版。



…学問の秋…

…食欲の秋…

『どう解く?』 答えのない 道德の問題 やまざきひろし著

「どうして勉強をしなきゃいけないの?」「ついていい嘘とついていけない嘘は、どう違うの?」「どうして正義のヒーローは、悪者を殴っているの?」大人でも答えを出すのが難しい問題たち。池上彰、羽生善治、谷川俊太郎、ミッツ・マングローブ、能町みね子など各界の著名人が考えた意見も掲載し、親子で、家族で、友達同士で考えて、議論する道德の本。



『アニマルウェルフェアとは何か』 倫理的消費 と食の安全 枝廣淳子著

私たちの食べる卵や肉はどのように作られているのか。「動物たちは、その動物本来の行動をとれる幸福な状態でなければならない」—欧米で畜産動物にも取り入れられているアニマルウェルフェアの考え方と取り組みを紹介するとともに、日本の畜産の現状を報告し、対応が急務であることを説く。



スポーツの秋、芸術の秋、学問の秋、食欲の秋…いろいろあるけど秋は秋でも読書の秋！

校内読書週間ポスターコンクール結果発表！！

毎年恒例の「読書週間ポスター」コンクール。先日審査をおこない、今年度の最優秀作品は1-2 西立野 楓さんに決まりました。おめでとうございます！ 優秀賞以下の結果は、右記のとおりです。力作ぞろいで、とても楽しい審査となりました。



↑1-2 藤並ひかりさん **図書館賞** ↑1-1 甲斐ほの華さん

←この2作品は、図書館に展示してあります。

最優秀賞	1-2	西立野 楓
優秀賞	1-1	黒木 ほたる
優秀賞	1-2	三宅 珠千留
優秀賞	1-3	小川 雅也
佳作	1-1	竹下 暁子
佳作	1-1	長友 乙華
佳作	1-2	堤 麗侶
佳作	1-3	児玉 翼
佳作	1-3	大地 貴己
佳作	1-3	山田 萌華
図書館賞	1-1	甲斐 ほの華
図書館賞	1-2	藤並 ひかり

図書館特別展示 『百人一首展』～かるたは文芸、かるたはスポーツ～

「かるた」はカードを意味するポルトガル語「CARTA」が由来とされています。16世紀半ばポルトガル人がカード遊びとして日本に持ち込み、天正(1572～1592)の時期に「天正かるた」というものを九州で作るようになったのが日本での「かるた」の始まりです。当初は貴族や武士の間で流行していましたが、次第に庶民の間にもかるた遊びが浸透するようになります。一方、日本には平安時代から「貝覆い」という遊びがありました。ハマグリやカキの貝殻を上下に分け、それぞれ対になる貝殻を探して集めていくというもので、貝殻の上下に上の句と下の句に分けて和歌を書き、貝覆いと同じように探しながら合わせていく遊びが、かるたの起源となりました。



参考画像(江戸末期、木版、各札7.0×4.5 cm)

地域や場合によってまちまちだった「かるた取り」のルールを統一したのは黒岩涙香(くろいわなみか)という文筆家、明治37年のことです。その後かるた大会はたいへん盛んになり、競技かるた人口は現在100万人とも言われています。映画「ちはやふる」では、その衣装にも注目されましたが、競技かるたでの服装には決まりがあって、「名人・クイーン戦」「国民文化祭」「女流選手権大会」など一部の大会では、和装が義務化されているそうです。

一般社団法人全日本かるた協会HPより参照、一部抜粋

百人一首展は、図書館入り口で展示中です。学校で使っているかるたの札も展示しています。